

科目名 認知神経科学	教員名 村上郁也	7月22日2時限 試験時間90分	
指定クラス (該当せず)	解答用紙 両面1枚	計算用紙 0枚	持ち込みの有無 不可

以下の問いに答えよ。(いずれも文章の長さは問わない。要点を押さえてあればそれぞれ簡潔な数個の文章で終わってかまわない。)

1. 「主観的輪郭」と呼ばれる現象では、刺激内に存在しない輪郭が観察者にはなぜか知覚され、「アモータル補完」と呼ばれる現象では、やはり輪郭の存在が観察者にはわかるという。これらの現象典型例を図示して、どのような現象化がわかるように説明せよ。

2. ものの動きの知覚に係る任意の錯視をひとつ挙げて、いかなる現象か説明し、その現象からわかる視覚の仕組みを説明せよ。

3. 以下のキーワードをすべて用いて、認知神経科学の小論文を作れ。

光 対比 錐体 色 分光感度 知覚 波長スペクトル

4. 本講義で扱った脳の情報処理の不思議さについて、自ら考えたことを書け。

以上。